



博士論文審査・学位取得の流れ(論文博士)

本学の博士課程を経ない者が、内見審査を経て、本研究科に学位の授与を申請するときは、次の流れにより行われます。なお、審査料として 57,000 円が必要です。

内見審査申請	論文が博士の学位審査に値するか否かをあらかじめ審査します。内見受理教員を含む 3 名の審査委員が審査に当たります。内見受理教員の承認を得た上で、研究科長(研究所事務室)に申請書を提出してください。 合格と判定された場合、博士論文の審査申請を行います。	—
▽		
博士論文審査申請	提出された論文ごとに審査委員会が設置され、内見受理教員と学外審査委員 1 名を含む 4 名の審査委員が審査に当たります。内見受理教員の承認を得た上で、所定の申請書類を研究科長に提出してください。論文審査料(57,000 円)は事前に振込み、振込明細書を申請書類と併せて提出してください	—
▽		
博士論文審査会 及び 最終試験	審査委員会は論文審査及び最終試験を行い、公開の論文発表会を開催します。審査時間は 1 人当り概ね 2 時間です。 審査委員会の最終試験結果報告に基づき、研究科会議において博士論文の合否判定及び学位授与の議決を行います。	—
▽		
学位の授与	学位授与認定者に対し、博士の学位を授与します。	審査結果が付議される 研究科会議の日